

国指定重要文化財

ろ か せん すい そう

# 蘆花浅水荘 一般公開

滋賀県大津市、膳所（ぜせ）という小さな城下町の琵琶湖のほとりにおもむきのある数寄屋づくりのお屋敷がビルに挟まれひっそりと佇んでいます。

「蘆花浅水荘」と名付けられたこの建物は明治中期から昭和初期にかけて名を馳せた京都画壇の重鎮、帝室技芸員山元春拳画伯の別邸であり、画伯自らが設計、監修した見事な近代和風建築（国指定重要文化財）です。

是非、この機会に郷土の素晴らしい文化財に触れてみてください。

日時：令和 元年 11月 23日（土・祝）～ 24日（日）

午前 10時～午後 4時

場所： 蘆花浅水荘（記恩寺）

大津市中庄 1-19-23（地図裏面参照）

- ◆ 持仏堂開帳
- ◆ 春拳の描いた訪問着
- ◆ 庭園開放
- ◆ 手書友禅創作品（古布遊々）

参加費： 無料

邸内拝観（案内）希望者 500円

主催 企画舎 羅針盤 大津市平津一丁目 21-30

TEL 077-533-1941（末富）

E-mail info@rashinban.main.jp

協力 膳所まちづくり委員会、滋賀銀行



山元 春拳画伯



## 画伯の遺言を今に活かし未来に繋ぐ事業

企画舎羅針盤

滋賀県大津市、膳所（ぜぜ）という小さな城下町の琵琶湖のほとりにおもむきのある数寄屋づくりのお屋敷がビルに挟まれひっそりと佇んでいます。「蘆花浅水荘」と名付けられたこの建物は明治中期から昭和初期にかけて名を馳せた京都画壇の重鎮、帝室技芸員山元春拳画伯の別邸であり、画伯自らが設計、監修した見事な大正建築（国指定重要文化財）です。

私達は郷土の巨匠が残したこの貴重な文化遺産を守り続けるには本建物の積極的な活用且つ運営が必要と考えます。

画伯は晩年（昭和6年）膳所町制施行三十年記念史に本別邸を「美術工芸家その他の人々の集会場に開放し云々」と日本文化発展に寄与する旨の文言を残しています。

この言葉を画伯の遺言ととらえ、蘆花浅水荘を日本文化の発信基地と位置付けるとともに私達が現在抱えている日本文化衰退の危機を抑制し、次世代に向けた活路を見い出していく所存です。

本計画には画伯の孫にあたる山元寛昭氏の積極的な賛同を頂くとともに、地域住民、市民団体、研究機関、行政等の協力による協働作業を進めてまいります。先人の遺産である史跡は残そうという意志があって初めて次の時代に伝えることができます。

ここには私達が暮らす日本という国の昔と今が同じ時を過ごしています。



蘆花浅水荘

大津市中庄 1-19-23

TEL077-522-2183

企画舎 羅針盤

大津市平津 1-21-30

TEL077-533-1941